

春はとこから

竹節命

今もおでしていよかしう

子孫のころ 政が家でもやっていた

フクは内 オニは外

ひらあててるをニム

オニは 来ては知れよ

との 父の海を おもいあや

カレニガレて見ると

その時々の 行事がのつてい

それは おかしのカレニガレ

今は 赤くううていよのは 白の目と

今ま

季節の カレニガレ 通り 日と送っていよのは

あむし 下あいかも これをい

改在は カレニガレ 通りでい

流行を ちいかける こともあ

次は何々とはいかやても おいつか

さむい 白木がく

春は 子た 遠い

トト 子 ブレの玉を

